

政策・制度の要求と提言提出及び実現に向け 三浦半島地域連合議員団と意見交換開催



三浦半島地域連合の 2021 年度に向けた政策・制度要求と提言内容を議員団と共有化し、実現に向け協力を依頼することを目的に、三浦半島の地域連合五役（7名）と議員団会議メンバー（11名）で意見交換を8月28日（金）18時30分からヴェルクよこすかで、密をさけるために40名収容の研修室にて行い、提案者はフェイスシールドをするなど感染対策をして行いました。

◆意見交換内容

及川議長から議員団と連携強化し、提出するだけではなく、政策制度を実現していきたいという挨拶後に、今年度提案予定の政策・制度要求と提言説明を行い、意見交換しました。

今年度は去年の台風や7月の大雨で多発したがけ崩れ対策強化・砂浜の規模縮小が進んでいることから養浜の強化・同一住所（住居）表記に10軒以上の家が存在する問題の定期など三浦半島地域連合特有の問題を提起するとともに、新型コロナウイルス対策の大項目を追加するなどしてまとめました。

説明後、議員団からは下記のような意見が出ました。

- ①急傾斜地のがけ崩れについては台風により樹木が倒されてがけ崩れになる事例もあり、管理伐採も提案に盛り込むべき、指定区域の見直しをするべき。
- ②養浜対策は県が主体となっていますが市町や住民の協力も大切もある。
- ③学校の体育館への空調施設設置については、特別教室も出来ていない学校も多くあることから特別教室も取りこむべき。
- ④住所（住居）表示についてはある程度の見直しはされているものの、改善されていない状況を議員団と共有できた。

など様々な補強意見・アドバイスや議論が出来て充実した意見交換になりました。

今回の意見交換を盛り込んだ最終案を作成して9月の五役会・幹事会で確認し、10月16日に三浦半島地域4市1町に政策・制度の要求と提言を提出し、『働くことを軸とする安心社会実現』をめざしていきます。